

徳島大学の取組紹介

1. 地元徳島県の経済団体等との産官学人材育成連携会議の設置 ―産官学連携による教育改善―

本取組では中国・四国の大学が産業界と連携して有為な人材の育成に努めるが、地元の経済団体からの支援も不可欠である。本学では、四国大学と合同で徳島県内の経済5団体(徳島県経営者協会、社団法人徳島経済同友会、徳島県商工会議所連合会、徳島中小企業団体中央会、徳島県商工会連合会)や徳島労働局・徳島県との間で徳島県産官学人材育成連携会議(以下「連携会議」という。)を設置して、取組を推進している。

(1) 平成24年12月6日に「徳島県産官学人材育成連携会議」を設置した。

会議開催状況: 第1回:平成24年12月6日、第2回:平成25年3月14日、
第3回:平成25年6月14日、第4回:平成26年3月20日、
第5回:平成26年6月23日

(2) 連携会議の下に具体的事項を検討するワーキンググループを設置した。

- ・具体的検討事項:①キャリア教育に係る講師派遣人材バンクについて
- ②インターンシップの改善について
- ③キャリア教育に関する教材開発について

・会議開催状況: 第1回:平成25年10月22日、第2回:平成26年12月9日、
第3回:平成26年2月21日、第4回:平成26年4月25日、
第5回:平成26年6月16日

(3) 連携会議(平成26年3月20日開催)において、大学のキャリア教育・就職支援に資するため産官学が連携して、キャリア教育に関する優れた見識や豊富な経験等をお持ちの企業・機関等の方に外部講師としてご協力いただくためのプラットフォームとなる「大学のキャリア教育・就職支援に関する外部講師人材バンク」を設立することとし、平成26年度に人材バンクへの講師登録を開始した。

2. 地域人材ニーズ調査

徳島県内に立地する企業等における人材のニーズ調査(平成25年2月～3月)を実施し調査の集計及び分析を徳島大学と四国大学が共同で行い、連携会議において同調査結果について検討を行った。また、調査結果を取りまとめたものを冊子とし、関係企業等に配付した。

3. 徳島地域人材育成セミナー

本セミナーは、地域の産業界のニーズに応えられる人材育成を目指して、大学のキャリア教育の改善・充実を目的に開催している。

また、セミナー終了後に、引き続き「地元企業関係者と大学関係者との懇談会」も併せて開催している。

セミナー開催状況：

(1)第1回(平成25年3月7日開催) テーマ:産業界が求める大学の人材育成

(2)第2回(平成25年8月29日開催) テーマ:キャリア学習ポートフォリオとその利活用について考える

4. キャリア教育科目の多様化 —テーマ1「キャリア系授業科目の改善・充実」—

(1)キャリア教育科目にアクティブ・ラーニングを導入した。

(2)キャリア授業科目に異文化・異世代コミュニケーション力を育むカリキュラムを導入した。

(3)「キャリアプランⅡ」においてPBL形式の授業を平成25年度から開講した。

(4)本学で授業参観(キャリアプランⅠ)を実施し、連携校との意見交換を行った。(平成26年7月15日実施)

5. ポートフォリオの改善と活用促進 —テーマ2「評価・指導方法の改善充実」—

Web キャリア学習ポートフォリオは、キャリア学習のための「学習記録」ならびに「キャリアデザイン」シートのほか、「課外活動記録」および「進路・就職情報」等のシートからなり、学生が自らのキャリアデザインを考える際に極めて有用なデータベースである。このポートフォリオの機能を充実・改善し、活用することによりキャリア教育の充実・改善を図った。また、キャリア授業などを通して学生のポートフォリオの利活用の促進を行っている。

(1)「学習記録」の改善(授業コメントとレポートコメントの登録・照会の機能改善)

(2)短期インターンシップの学生アンケート機能及び実施報告書作成の機能を追加

(3)「キャリア学習ポートフォリオとその利活用について考える」をテーマとしてセミナーを開催した。(平成25年8月29日開催)

6. 実践的インターンシップの展開 —テーマ3「フィールド系教育の改善充実」—

(1)平成25年度に「短期インターンシップ(2単位)」を開講した。

学習内容①事前学習:講義8回(平成26年度から9回), ②学外実習5日以上③報告書の提出)

・受講生数:平成25年度328人, 平成26年度382人

・大学からインターンシップの受入依頼をし、承諾いただいた企業等数:

平成25年度96事業所, 平成26年度102事業所

(2)事前学習の補助テキストとして、「インターンシップ・ハンドブック」(冊子)を作成した。

(3)インターンシップに関するアンケート(受講生と受入企業)を実施し、インターンシップの充実・改善を行っている。

(4)企業等へインターンシップ実践事例集(テーマ3で作成)を送付し、インターンシップに対する理解及び協力をお願いし、受け入れの拡大を図っている。

(5)本学においてテーマ3サブグループ2会議を開催し、インターンシップの強化等について意見交換等を行った。(平成26年5月23日開催)